

令和5年度 放課後児童健全育成事業者 指導監査チェックシート（令和5年度分）

事業所名	学校法人 志向学園
事業者名	ときわ児童クラブ
自己検査日	令和5年5月15日
自己検査結果 記入者	仁平 琴巳
調査 実施日	令和6年1月30日
調査 対応者	こども支援課 こども支援係 係長 大島 健志
調査員	こども支援課 こども支援係 主査 山岸 照幸

自己検査項目を踏まえ、自己検査判定を入力してください。（色付きの欄を入力）
 <自己検査判定の目安>
 ○：適合している
 △：適合していないが、比較的軽微な事項であって改善が容易と考えられるもの
 ×：適合していない
 該当なし：該当がない項目の場合

1 開所時間及び開所日

確認項目 ※カッコ内は根拠	自己検査項目 (確認した事実、根拠書類、補足等)	自己検査判定 (○,△,×)	(自己検査判定が△・×の場合) 改善のための措置	立入 調査 判定	立入調査員の所感 (特筆すべき事項があれば記載)
(1) 【開所日】 1年につき250日以上開所予定である。 〔基準条例第19条第2項〕 〔運営指針 第4章 3〕	【開所（予定）日数】 開所 予定 266日	○		A	

令和5年度 放課後児童健全育成事業者 指導監査チェックシート（令和5年度分）

2 放課後児童支援員等の数及び資格

確認項目 ※カッコ（）内は根拠		自己検査項目 (確認した事実、根拠書類、補足等)		自己検査判定 (○,△,×)	(自己検査判定が△・×の場合) 改善のための措置	立入 調査 判定	立入調査員の所感 (特筆すべき事項があれば記載)
(1)	放課後児童健全育成事業所ごとに、開所している時間帯を通じて、支援の単位ごとに放課後児童支援員を2人以上（内、1人を除き補助員でも可）配置している。 〔基準条例第11条第2項〕 〔運営指針 第4章 1〕	条件を満たしていることを確認（任意の1か月を抜粋）		○		A	
		確認月	5月				
(2)	放課後児童支援員として届出を行っている職員は、いわき市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例第11条第3項に該当する者である。 〔基準条例第11条第3項〕	最新の職員名簿：	4月1日現在	○		A	
		職員数：	8人				
		うち放課後児童支援員として届出を行っている職員の人数：	5人				
(3)	放課後児童支援員及び補助員は専任である。 ※専任とは、支援の提供を行う時間帯について、放課後児童健全育成事業の業務のみを行うことをいう。 〔基準条例第11条第5項〕	※労働契約書（兼労働条件通知書）等から以下のことが読み取れるか <input checked="" type="checkbox"/> 専任である 根拠書類： <input checked="" type="checkbox"/> 労働契約書（兼労働条件通知書） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 出向契約書		○		A	

令和5年度 放課後児童健全育成事業者 指導監査チェックシート（令和5年度分）

4 非常災害に対する措置

確認項目 ※カッコ（）内は根拠		自己検査項目 (確認した事実、根拠書類、補足等)		自己検査判定 (○,△,×)	(自己検査判定が△・×の場合) 改善のための措置	立入 調査 判定	立入調査員の所感 (特筆すべき事項があれば記載)																						
(1)	消火用具、非常口その他非常災害に必要な設備が設けられており、職員全員が設置場所や使用方法を知っている。 〔基準条例第7条第1項〕 〔運営指針 第6章 2〕	<input checked="" type="checkbox"/> 消火器等の消火用具や非常口を設置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 消火器等の消防用具の場所・使用方法を職員が知っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 消火器等の消火用具の使用期限がきれていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 消火器は歩行や避難の邪魔にならず、必要なときに瞬時に持ち		○		A																							
(2)	非常災害に対する具体的計画を立てている。 〔基準条例第7条第2項〕 〔運営指針 第6章 2〕	<input checked="" type="checkbox"/> 職員がマニュアル保管場所を知っている		○		A																							
(3)	緊急時の対応について、保護者や学校と共有している。 〔基準条例第20条、第21条、第22条〕 〔運営指針 第6章 2〕	保護者との共有方法： 電話やコドモンアプリを活用し、情報共有。 学校との共有方法： 安心安全メールに登録させて頂き共有している。		△	安心安全メールに登録させていただけない学校が一部あることから、今後も働き掛けを行う。	B	こども支援課としても、教育委員会に対し、学校と児童クラブの連携の重要性について継続した働き掛けを行う必要がある。																						
(4)	非常災害に対する定期的な訓練（避難訓練、消火訓練をそれぞれ）を年2回以上実施している。 ※同日に避難訓練と消火訓練を行った場合はどちらも1回実施したと判定します。 〔基準条例第7条第1項、第2項、第3項〕 〔運営指針 第6章 2〕	記録方法：	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施日及び実施予定日</th> <th rowspan="2">記録の有無</th> <th colspan="2">訓練の種類 (該当するものに○)</th> </tr> <tr> <th>避難訓練</th> <th>消火訓練</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年7月27日</td> <td>有</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>令和5年12月26日</td> <td>有</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施日及び実施予定日	記録の有無	訓練の種類 (該当するものに○)		避難訓練	消火訓練	令和5年7月27日	有	○	○	令和5年12月26日	有	○	○									○		A	
実施日及び実施予定日	記録の有無	訓練の種類 (該当するものに○)																											
		避難訓練	消火訓練																										
令和5年7月27日	有	○	○																										
令和5年12月26日	有	○	○																										

令和5年度 放課後児童健全育成事業者 指導監査チェックシート（令和5年度分）

5 育成支援

確認項目 ※カッコ（）内は根拠		自己検査項目 (確認した事実、根拠書類、補足等)	自己検査判定 (○,△,×)	(自己検査判定が△・×の場合) 改善のための措置	立入調査判定	立入調査員の所感 (特筆すべき事項があれば記載)
(1)	子どもの発達過程を踏まえ、子ども一人ひとりの心身の状態を把握しながら、育成支援を行っている。 〔運営指針 第2章 5〕	※子ども一人ひとりの心身の状態をどのように把握しているか、事業所での取組事項を記載し、適合しているかを判定します。 入会の際に子どもの状況について保護者から聞き取りを行い、個々の子どもの特性を踏まえた育成支援を行っている。	○		A	
(2)	子どもが遊びに自発的に参加し、遊びの楽しさを仲間間で共有していくように配慮がなされた育成支援を行っている。 〔運営指針 第2章 4〕	※子どもが自発的に遊びの楽しさを共有していくように、どのような配慮を行っているか、事業所での取組事項を記載し、適合しているかを判定します。 全員一緒に遊ぶだけでなく、個別に一人ひとりに声掛けをし、自発的に遊びに参加できるように促している。	○		A	
(3)	障害のある子どもも放課後児童健全育成事業を利用する機会が確保されている。 〔運営指針 第3章 2〕	障害のある子どもを受け入れている： <input checked="" type="checkbox"/> 受け入れている 受け入れにあたり配慮していること： 児童の特性を理解した対応ができるよう、いわき市主催の障害理解講座を受講するとともに、定期的に職員間で事例検討を行っている。 障害児の利用を断ったことがあるか： <input checked="" type="checkbox"/> ない 断った場合、その理由：	○		A	
(4)	児童一人ひとりの心身の状況を把握しながら、集団の中での児童同士の関わりを大切に育成支援を行っている。 〔運営指針 第2章 5〕	※集団生活を行う上で配慮している事項を記載し、適合しているかを判定します。 年齢に応じて個別の役割を与えて責任感を養うなど、児童同士が関わり合いながら、集団生活を送れるように工夫している。	○		A	

令和5年度 放課後児童健全育成事業者 指導監査チェックシート（令和5年度分）

(5)	<p>放課後児童支援員等は、育成支援を通じて保護者との信頼関係を築くことに努めており、子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。 〔運営指針 第3章 4〕</p>	<p>保護者から相談を受ける機会を設けているか、事業所での取組事項を記載し、適合しているかを判定します。</p> <p>お迎えの際等に子どもの様子を伝えるとともに、何か相談がないか聞いている。必要であれば、面談の機会を設けている。</p>	○		A	
(6)	<p>放課後児童支援員等の人間性及び専門性を向上させるため、研修に参加する機会を設けている。 〔基準条例第9条第1項、第2項〕 〔運営指針 第7章 1〕</p>	<p>※事業所での取組事項を記載し、適合しているかを判定します。</p> <p><研修の参加(予定) 状況></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 個人情報保護研修 ※全員必須 <input checked="" type="checkbox"/> 障害理解研修 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成研修 <input checked="" type="checkbox"/> 市主催研修 <input checked="" type="checkbox"/> 運営主体主催研修 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p><研修の勧奨・周知方法></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ミーティングでの周知・勧奨 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤職員からの声かけ <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p><研修計画の策定></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 策定済 <input type="checkbox"/> 未作成（令和6年度末までに策定）</p>	○		B	<p>研修計画が策定されていたが、安全に関するもののみを安全計画に記載していた。今後は、安全に関するもの以外も含めた研修計画を作成するよう指導した。</p>
(7)	<p>児童に身体的苦痛を与えたり人格を辱めることがない等、児童の人権に十分配慮している。 〔基準条例第6条第2項、第12条、第13条〕 〔運営指針 第7章 1〕</p>	<p>※事業所での取組事項を記載し、適合しているかを判定します。</p> <p>実施内容（配慮内容）：</p> <p>・事業所内で、人権に関する研修を行っている。 ・子どもを注意する際は、一方的に注意するのではなく、子どもの言い分も聞きながら指導するようにしている。</p>	○		A	
(8)	<p>虐待等、保護者に不適切な養育等が疑われる場合の対応が定められている。 〔運営指針 第3章 3〕</p>	<p>※事業所での取組事項を記載し、適合しているかを判定します。</p> <p>平常時の取組（虐待を見逃さない為に普段から心がけていること）</p> <p>普段と様子の違う児童がいれば、積極的に声をかけるようにしている。けがやあざがあった場合、その時の状況をさりげなく聞いてメモをしている。</p> <p>虐待発見時の対応</p> <p>学校の先生に報告するとともに、市役所に相談するようにしている。緊急の場合は虐待ホットラインに電話するように定めている。</p>	○		A	

令和5年度 放課後児童健全育成事業者 指導監査チェックシート（令和5年度分）

(9)	保護者と連絡をとり、児童の健康及び行動を説明するとともに、支援の内容につき、理解及び協力が得られている。 〔基準条例第20条〕 〔運営指針 第3章 1、4〕	※事業所での取組事項を記載し、適合しているかを判定します。 ・コトモンアプリを活用し、子どもの様子を共有している。 ・お迎えの際にも1日の出来事を共有している。	○		A	
(10)	事故が発生した場合などに備え、保護者の緊急時の連絡先を整理し、全ての放課後児童支援員等が関係機関に対する報告等を必要時に行うことができるようにしている。 〔基準条例第20条、第21条、第22条第1項〕 〔運営指針 第6章 2〕	連絡先の管理者（管理場所を把握し、連絡先を出せる職員）： 8人 連絡先の管理方法： 保護者の連絡先については、コトモンアプリを活用し、アプリ内に保管し職員全員が把握できるようにしている。また、緊急時ネットなど使用できない時の為に、紙でも保管している。職員全員はその保管場所を把握している。 関係機関への報告： 事故が発生した際には、市こども支援課及び保護者にすぐに連絡をしている。	○		A	
(11)	通院が必要となる事故等、報告すべき事故が発生した場合には、こども支援課に事故報告書を提出している。 〔運営指針 第6章 2〕	報告が必要な事故件数（通院が必要な事故は必須）： 0件 実際に報告した事故件数： 0件	○		A	
(12)	賠償すべき事故が発生した場合に備えて損害賠償保険や傷害保険等に加入している。 〔運営指針 第6章 2〕	※賠償すべき事故が発生した場合に備えて、損害賠償保険や傷害保険等に加入する必要があります。 損害賠償保険名（保険会社名及び保険名称） スポーツ安全保険 傷害保険名（保険会社名及び保険名称） スポーツ安全保険	○		A	
(13)	利用者の通学する学校と連携している。 〔基準条例第21条〕 〔運営指針 第5章 1〕	学校との連携： <input checked="" type="checkbox"/> 連携している <input type="checkbox"/> 連携していない 具体的な連携内容 児童の状況について、下校時に先生方と情報共有を行っている。	△	色々な小学校の児童が学童を利用して いるため、全学校とは連携できていない。	B	学校との連携は、児童への適切な支援はもとより、安全確保 上も重要であることから、継続 した取り組みが必要である。
(14)	運営の内容について、自ら評価を行い、その結果を公表している。 〔基準条例第6条第4項〕 〔運営指針 第7章 3〕	評価方法： 未実施 公表方法： 未実施	×	市の指導監査に基づいた本チェックシート を公表予定。	C	

令和5年度 放課後児童健全育成事業者 指導監査チェックシート（令和5年度分）

6 おやつ等の提供

確認項目 ※カッコ（）内は根拠		自己検査項目 (確認した事実、根拠書類、補足等)	自己検査判定 (○,△,×)	(自己検査判定が△・×の場合) 改善のための措置	立入 調査 判定	立入調査員の所感 (特筆すべき事項があれば記載)
(1)	栄養面や活力面を考慮して、おやつを提供している。 〔運営指針 第3章 1〕	就労支援事業という障害をもった方が作ってくださるおやつを提供させていただいている。(主に、パン・クッキーなど) 月、水：虹のかけはし 木：いわき学園 火、金：市販の袋菓子（スナック菓子）	○		A	
(2)	食物アレルギーのある児童については、配慮すべきことや緊急時の対応等について事前に保護者と丁寧に連絡を取り合い、安全に配慮して提供している。 〔運営指針 第3章 1〕	<input checked="" type="checkbox"/> 利用申込時に、保護者から医師の診断に基づく書類（学校生活管理指導表等）の写しをもらっている <input checked="" type="checkbox"/> 入会申込書に配慮すべき事項を記入してもらい、必要に応じて保護者と面談を行うなどして連絡を取り合っている <input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギーのある児童について職員が把握できるように職員会議などで内容を共有し、おやつ提供時には必ず確認している。	○		A	

7 健康管理・安全確保

確認項目 ※カッコ（）内は根拠		自己検査項目 (確認した事実、根拠書類、補足等)	自己検査判定 (○,△,×)	(自己検査判定が△・×の場合) 改善のための措置	立入 調査 判定	立入調査員の所感 (特筆すべき事項があれば記載)
(1)	職員の健康診断を行っている。(採用時及び年1回) 〔運営指針 第4章 6〕 〔労働安全衛生法第66条〕 〔労働安全衛生規則第44条〕	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤職員について定期健康診断（毎年）を行い、健康診断結果を保管している。 ※ただし当該年度途中で雇用する職員の定期健康診断は、雇用時の健康診断と兼ねることができる <input checked="" type="checkbox"/> 年度途中で新たに雇用した職員については、雇入時に健康診断を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員については、胸部X線を実施状況を把握している（全員）	○		A	
(2)	必要な医薬品（医薬部外品等）、その他の医療品を備えている。 〔基準条例第14条第3項〕 〔運営指針 第6章 2〕	<input checked="" type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 水まくら <input checked="" type="checkbox"/> 消毒液 <input checked="" type="checkbox"/> 絆創膏類 <input type="checkbox"/> その他（下記に詳細を記載してください） 記載欄： <input type="checkbox"/> 備えていない	○		A	

令和5年度 放課後児童健全育成事業者 指導監査チェックシート（令和5年度分）

(3)	感染症の発生状況について情報を収集し、予防に努めている。 〔基準条例第14条第2項〕 〔運営指針 第6章 2〕	情報収集方法：	小学校で感染症が発生した場合は、児童の保護者さんより学校の情報を共有していただいている。	○		A	
		予防方法：	定期的に施設設備の清掃・消毒を行っている。				
(4)	新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施している。 〔基準条例第14条第2項〕 〔運営指針 第6章 2〕	<input checked="" type="checkbox"/>	可能な限り室内を換気しながら活動を実施している。	○		A	
		<input checked="" type="checkbox"/>	多くの人が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ等）、共用の遊具は、1日1回以上消毒液（消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等）を使用して清拭している。				
		<input checked="" type="checkbox"/>	こまめに手洗いをを行うようにしている。				
		<input checked="" type="checkbox"/>	活動中において、本市方針を踏まえたマスクの着用をしている。				
		<input checked="" type="checkbox"/>	おやつ提供に際し、密にならないよう対策しているか。				
		<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外の対応についても新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき対応しているか。				
(5)	日常の遊びや生活の中で起きる事故やケガを防止するために、室内及び屋外の環境の安全性について毎日点検し、必要な補修をしている。 〔基準条例第10条第4項〕 〔運営指針 第6章 2〕	<input checked="" type="checkbox"/>	地震により整理棚やロッカー等が倒れないように転倒防止策をしている	○		A	
		<input checked="" type="checkbox"/>	整理棚やロッカーに落下する恐れのある荷物等を積んでいない				
		<input checked="" type="checkbox"/>	遊具の破損など、目視で危険な箇所がないか確認をしている				

令和5年度 放課後児童健全育成事業者 指導監査チェックシート（令和5年度分）

10 備える帳簿

確認項目 ※カッコ（）内は根拠	自己検査項目 (確認した事実、根拠書類、補足等)	自己検査判定 (○,△,×)	(自己検査判定が△・×の場合) 改善のための措置	立入 調査 判定	立入調査員の所感 (特筆すべき事項があれば記載)
(1) 職員に関する帳簿が備えられている。 〔基準条例第16条〕 〔労働基準法第107条、108条、109条〕	<input checked="" type="checkbox"/> 職員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 資格を証明する書類（写） <input checked="" type="checkbox"/> 賃金台帳 <input checked="" type="checkbox"/> 出勤簿 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務ローテーション表 <input checked="" type="checkbox"/> 超過勤務簿 <input checked="" type="checkbox"/> 雇用通知書（労働契約書） <input checked="" type="checkbox"/> その他（下記に詳細を記載してください） 記載欄：	○		A	
(2) 財産に関する帳簿が備えられている。 〔基準条例第16条〕	<input checked="" type="checkbox"/> 備品台帳 <input type="checkbox"/> その他（下記に詳細を記載してください） 記載欄：	○		A	
(3) 収支に関する帳簿が備えられている。 〔基準条例第16条〕 〔運営指針 第4章 7〕	<input checked="" type="checkbox"/> 会計関係帳簿 <input checked="" type="checkbox"/> 小口現金台帳 <input checked="" type="checkbox"/> 通帳 <input checked="" type="checkbox"/> 領収書（原本）	○		A	
(4) 利用している児童の状況を明らかにする帳簿等が備えられている。 〔基準条例第16条〕	<input checked="" type="checkbox"/> 出席簿 <input checked="" type="checkbox"/> 児童名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 入会（継続）申込書（利用申込書）	○		A	
(5) 運営に関わる業務の記録等が備えられている。 〔基準条例第16条〕 〔運営指針 第3章 5〕	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の実施状況に関する日誌	○		A	
(6) 日誌は日常的な活動状況や児童及び職員の様子がわかるように毎日つけられている。 〔運営指針 第3章 5〕	日誌への記録有無： <input checked="" type="checkbox"/> 毎日日誌がつけられている <input type="checkbox"/> 日誌がつけられていない日がある 日誌内容について、主な項目として下記が記載されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 単位ごとの開所時間 <input checked="" type="checkbox"/> 職員配置状況（氏名、放課後児童支援員資格有無、勤務時間） <input checked="" type="checkbox"/> 利用児童数 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児数 <input checked="" type="checkbox"/> おやつ（材料やメニュー）について <input checked="" type="checkbox"/> ケガや事故の記録	○		B	業務日誌に記載された支援員の出退勤時間に誤りがあったことから、正しく記入するよう指導した。